

北辰

TOKYO



岐阜県立多治見北高等学校同窓会
東京支部会報 第24号
2010年10月3日

第21回総会・懇親会へ 初参加を歓迎します

多治見北高等学校同窓会東京支部 会長 山本 康夫（7回生）

多治見北高等学校東京支部のみなさまには、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて今年、同窓会東京支部が発足して満20年を迎えます。大きな節目の年ですので、これまで築いてきた伝統を守るとともに新たな変革にチャレンジしたいと考えます。

（1）第21回総会・懇親会

第21回総会・懇親会を、11月20日（土）昭和女子大学本部館会議室で開催します。

21回生と31回生が幹事をつとめ、大きな目標として「初参加のみなさんのお迎え」を掲げています。来賓として、南谷校長先生、恩師の先生方、本部同窓会と関西支部の代表、古川多治見市長などが出席されます。どうかみなさん奮ってご参加ください。

詳しくは本会報に掲載のご案内で確認をお願いします。

（2）多治見北高同窓会東京支部の特徴

たくさんあるとは思いますが、今回は以下2つをあげます。

①卒業生が若い

昭和33年創立の多治見北高校は、岐阜県立高校の中でもっとも歴史の浅い学校のひとつです。1回生が60歳台ですから、ほとんどの卒業生が社会の第一線で活躍中です。

古田知事と県立高校（23校）同窓会会長との懇親の場である「岐阜サミット」においても、他校の方から同窓生の若さについていつも羨ましがられます。

②進路が幅広い

もうひとつの特徴は卒業生の進路の広さです。

さまざまな業種の企業はもちろん、官公庁、教育、政治、医療・看護・介護、美術・芸術・音楽、自営業、主婦・・・とあらゆるジャンルに及んでいます。

「自主・自律・自学」の校風が育んだ卒業生ならではの多様な選択といえるかもしれません。

（3）集うことの魅力

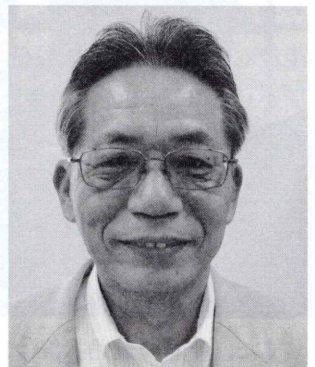
上記の特徴を持った同窓生の年1回の集いが総会・懇親会です。他校にくらべ平均年齢が圧倒的に低いので会場は活気にあふれ、さまざまな話題が飛び交い自然に視野が広がります。

フェイス to フェイスの魅力・醍醐味を味わうことができる貴重な場となっています。

（4）終わりに

なお同窓会の活動には他にゴルフ懇親会があります。また、関連の活動として東京岐阜県人会や東濃地区同窓会連合会等があります。こちらも懇親会でご紹介します。

ではみなさん、11月20日、昭和女子大でお会いしましょう。



「自主・自律・自学」の伝統を未来へ引き継ぐ

岐阜県立多治見北高等学校 校長 南谷 清司 (みなたに きよし)



多治見北高校同窓会東京支部の皆様には、ますます御活躍のことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろは本校の教育活動に対して御理解と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。本校関係者一同、皆様の御厚意に感謝し、更なる発展に向けて着実に歩みを進めているところです。

今年の夏の沖縄インターハイには、ソフトテニス部のペアが出場しました。放送部も東京での全国大会へ出場しました。また、夏の東海大会へ軟式野球部、ソフトテニス部、ボクシング部、水泳が出場しました。多治見市政70周年記念式典では、放送部が司会を務めました。老人ホームを家庭クラブや音楽部が訪問しました。多治見子ども情報センターでは、生徒有志が幼児や小学校低学年の子どもたちに絵本の読み聞かせを行いました。核融合科学研究所で80人ほどが未来のエネルギーについて、先端科学技術体験センター(瑞浪サイエンスワールド)では30人ほどが自分のDNA解析について実習しました。これら以外にも、在校生たちは校内での学習や部活動、北辰祭などの学校行事は勿論のこと、校外でも幅広く活躍しています。

また、今春の進路状況は、現浪合わせて東京大学に4人、京都大学に6人、国公立大学に158人合格するなど大きな成

果を上げました。関東圏の私大においても、慶応義塾大学9人、早稲田大学19人、明治大学19人、法政大学11人合格などとなっています。

このように、在校生たちは本校伝統の「自主・自律・自学」、「文武両道」を立派に受け継ぎ、守り育て、後輩へと引き継いでいます。自らの未来を見つめ、やらなければならないことを自らの責任で決定し行動できる「旺盛な実行力」である「自主」。自らの未来に近づくために、心・態度を厳しく律し鍛える「強い意志」である「自律」。輝く未来の実現のために、豊かな知識・知恵を自ら進んで身につける「限りなき向上心」である「自学」。同窓生の方々が育ててこられた伝統の「自主・自律・自学」の精神を、本校生徒がしっかり身につけ、自分で自分のルールを引き、自分の意志と力で進むことができるよう、また、同窓生の方々や、地域、保護者の方々の期待に応えることができるよう、本校教職員全員が力を合わせて努力してまいります。

どうぞ今まで以上の御理解、御支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

50回生の卒業を迎え、会員数1万7千超える

多治見北高等学校同窓会 会長 酒井 忠造 (5回生)



多治見北高同窓会東京支部の会員の皆様には、益々御健勝の事とお慶び申し上げます。

日頃は同窓会活動に、ご理解、ご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

各地で被害をもたらした集中豪雨、梅雨が明けたと思ったら連日の猛暑日、今年も日本一暑い都市「多治見」はつい先日39.4度を記録しました。

そんな暑い中、多治見北高の部活動では、ソフトテニス部、軟式野球部、ボクシング部が東海総体に出場し、さらにソフトテニス部は全国高校総体に出場、また全国放送コンテスト出場の放送部。それぞれ北高の生徒たちが活躍していると聞くと誇らしく思うのは私だけではないでしょう。私も野球部に所属しておりましたので特に部活動の活躍を聞くと昔が思い出され懐かしく胸躍るものがあります。

今年の夏の高校野球県大会は決勝戦で県岐阜商に土岐商が4:3で勝って、みごと三度目の甲子園出場を果たしました。地元ですので喜びも大きいものがあります。念願の甲子園一

勝は圧勝で見事果たしましたが、惜しくも8強はなりませんでした。また来年が楽しみになりました。

甲子園出場が決まると、土岐商同窓会は寄付金集めに奔走することになり、短期間で、しかも多額の寄付を集めることになるのですから大変なご苦労ではないでしょうか。

さて、わが同窓会は今年の3月、記念すべき第50回生の卒業を迎え、1万7千を超える会員数となりました。50の各学年同窓会ができたわけですから、強力なバックアップを期待できると思うのです。よろしく願いいたします。50周年記念事業で建設された【北辰の杜】も順調に育っているようです。今後は維持管理が大切になってきます。

それでは今年度の事業についてご説明申し上げたいと思います。

1、年一回の会報「北辰」の発行。今年で12号となります。

2、毎年継続して行われておりますが、北高卒業生による北高在校生への講演会実施。

10月14日、講師は立命館大学法科大学院教授吉田美喜夫さん（8回生）です。

昨年は新型インフルエンザの流行で中止となったため、再度お願いをしました。

3、第11回親睦ゴルフ大会の実施

9月20日（月）法仙坊ゴルフ倶楽部、幹事11回生、21回生、参加者約百名。

今年で11回目を迎えます。学年対抗戦もあり、例年大

変盛り上がります。

4、古溪山「永保寺」清掃と見学

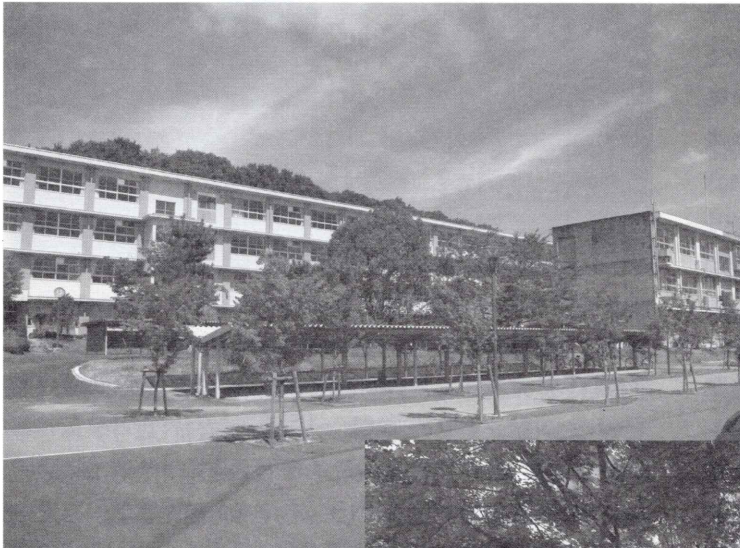
11月23日、今回の新しい試みです。清掃の後、見学と講話が予定されています。学生時代の懐かしい場所へ訪れてみてはいかがでしょうか。

5、その他、ホームページの管理、財務基盤強化。

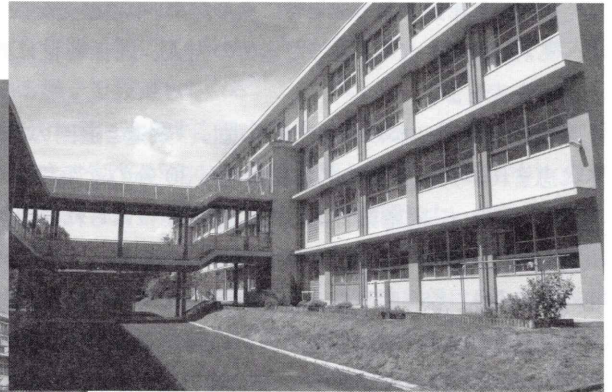
みなさんの善意で一口三千円の協力金は是非お願いいたします。

最後に、東京支部会員の皆様のご活躍をお祈りいたします。

近頃の母校の様子 2010/09/12 撮影



西側から見た教室棟



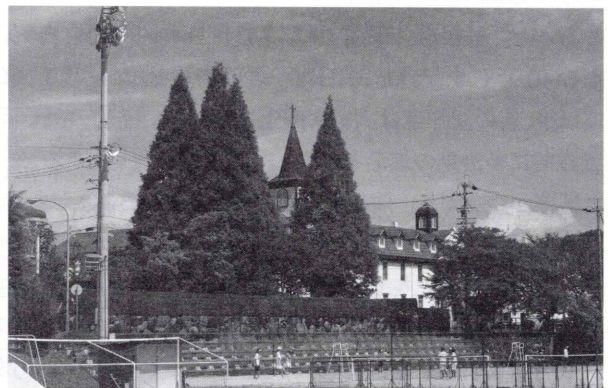
北側校舎



「北辰の杜」と本部館、下は部室棟



校庭から修道院方向をのぞむ



市制施行 70 周年を迎えて

多治見市長 古川 雅典 (11 回生)

多治見市は本年 8 月 1 日に市制施行 70 周年を迎えました。昭和 15 年 8 月 1 日に多治見町から多治見市へと移行し、人口は当時の約 27,000 人から、現在では約 117,000 人のまちへと成長しました。そして、まちの発展とともに社会基盤の整備、教育文化の振興、市民福祉の充実など、着実な発展を遂げてきました。市民の皆様とともに歩んだ 70 年の歴史を振り返り、これまで導いてくださった全ての先人、関係各位に感謝と敬意を表します。

多治見市は、日本の中央部に位置し、鉄道と道路のアクセスに恵まれ、大都市圏の名古屋市から 30 分の近距離ながら自然に富み、伝統産業である陶磁器産業にみられる勤勉な人間性など、高いポテンシャルを持っています。「人が元気！まちが元気！多治見」を実現し、市民の皆さんの幸福度を高めるとともに、元気の復活と自信の回復で、少子高齢社会にあって持続可能な地方自治の確立を目指します。

第一には、伝統産業である陶磁器・タイルの高デザイン・高付加価値化に取り組みます。4 人の人間国宝を擁する美濃焼、巨大な陶壁でお出迎えする新しい JR 多治見駅を起点とした日帰り観光事業など、多くのお客様をあついおもてなしでお迎えます。産官学連携によるクールアイランドタイルを代表とした機能性タイルの地産地消と市長自らによるトップセールスにより、質の高い建材タイルを自信を持ってアピールします。また、楽天との提携によるインターネットを活用した海外市場での販売や、成長著しい中国を中心とした外国人観光客

の誘引など、時勢に沿った新たな活路開拓も行います。

第二には、企業誘致を推進します。岐阜県内最大級の約 30ha の山吹テクノパークは、本年秋ごろに進出企業名を公表できる段階まで交渉が進み、現在はアクセス道路や水処理施設など、オーダーメイド方式で造成事業を行っています。また、今年度末にはこの造成工事が完了しますので、次の候補地の調査も進めます。

第三には、将来の多治見市を担う子ども達の教育の充実です。親育ち 4・3・6・3 たじみプランでは、お腹に赤ちゃんのできた親が育つ仕組みを、習慣向上プロジェクトでは脳トレ学習により一定の子ども力をつける取り組みを進めています。20 歳になったときに、自己責任で自己決定の出来る子ども達に育つことが、未来の多治見の元気へと直結します。

産業と観光の振興を図ることで税収と雇用を確保し、必要な子どもの教育や福祉にしっかりと取り組みます。「人が元気！まちが元気！多治見」を実現するため、スピードと正確さをもって着実に歩みを進めます。皆様のなご一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



寄稿・観光シリーズ

多治見の観光を考える

水野紀男 (2 回生)

私が上京した (昭和 37 年) 頃の多治見の認知度は、陶磁器産業の盛んなところで美濃焼の産地といえども、その地理的な位置についてはかなりの補足説明を要するほど低いものであった。しかし、平成 19 年 8 月、日本国内の最高気温となる 40.9℃ を記録し、「日本一暑い街」として話題を提供して以後、巷の認知度は大いに向上している。酷暑の続く折に、意識的に多治見の地名を出すと、『あのくそ暑いところ・・・』と話題がつながり、関心度も高いと感じられることがある。

今や観光立国推進のためには地方の活性化が不可欠であり、この暑さを売りモノにするのも観光戦略として有効である。既に古川市政のもとで平成 20 年度からスタートした第 6 次総合計画において、「活力ある多治見づくり」と「魅力ある

多治見づくり」を掲げ、観光の推進では、基本施策として「日帰り観光の環境整備」に取り組んでいる。魅力ある観光を創出するためにメディアを利用して全国へ観光情報を発信したり、「多治見じまん」や「器とグルメ」などの観光パンフレットを発行して観光物産展や観光イベントを通して配布している。また、既存の観光資源を活用した観光の推進として、「たじみ物語」(本)を作成し、景観や施設などにストーリー性を付加することによる新たな観光資源として位置づけ、そのうえ「食」や「文化」などの新たな観光資源の発掘による観光の充実が試みられている。一方、日本一の暑さから誕生したマスコットキャラクター「うながっぱ」はメディアを通じて多治見市を PR している。

多治見の強み (暑さ日本一の街、陶磁器産業の街、名古屋へのアクセス・高速道路の利便向上、多彩なイベント・多治見修道院・虎渓山永保寺等の観光資源等) を活かして、さらに、地域産品 (美濃焼: タイル・志野・織部、農業産品、あられ、酒等) のブランド化を推進し、名古屋圏及び周辺地域

からの日帰り観光客を誘致することが必要である。東濃圏域の観光客（日帰り客）は、平成 17 年に東海環状自動車道の開通により中央自動車道、東海北陸自動車道がリンクしたことで前年比 61.6%と飛躍的に増加した。こうした観光客の流入の増大は、隣接する大型商業施設（土岐プレミアム・アウトレット）や道の駅の整備等に拠るところが大きく、目的別に見ると買物が全体の 44.5%を占めている。

したがって、観光施策における東濃圏の広域な連携が必要であり、それぞれの強みを発信して観光客を回遊させることが課題として挙げられる。

水野紀男（2 回生）

日本観光学会理事・旅行部会長

寄稿・観光シリーズ

21 世紀産業 ～外国人観光客受入れ～ は、日本を救う (中国人観光客様、熱烈歓迎)

松井秀幸（20 回生）

民主党政権下で作られた新成長戦略において、外国人観光客の受入れは大きな柱となっている。少子高齢化などで国内の需要は伸びが期待できず、自動車、電機などの日本の基幹産業は海外への展開でしか繁栄できない。エコポイント制度で一時的に自動車や電気機器が売れても、所詮、需要の先食いの側面は否めない。日本は最早、少々リスクは覚悟の上で、外国人からお金を稼がなければならない。従来、外国人観光客の受入れは不法就労や治安が悪くなる可能性があり、それほど真剣に取り組むべきでないという雰囲気も一部にあったが、今や背に腹は代えられない。

実は、外国人観光客の受入れについて、現在、順風が吹いているのも事実である。来日するには欧米はやはり遠すぎて、3泊4日ぐらいでちょっと行って来ようというわけにいかない。軽い気持ちで来れるのは日本から近いアジアの人々である。世界経済の状況を見ると、ヨーロッパは不調、アメリカも不調ながら、アジア（日本を除く）だけが元気がいい。高い経済成長の恩恵により、1人あたりの GDP は順調に増えており、言葉は悪いかもしれないが言わば、アジアの人々は成金だらけである。海外旅行で派手にお金を使うのは昔からのお金持ちではなく、収入が年々増え、所有している不動産や株式などの財産の市場価格が伸びている人々である。

日本はこうした状況下で、この7月より中国人への観光ビザの基準を広げた。ビザを獲得できる潜在的な世帯は 1600 万世帯となり、10 倍となった。中国は、毎年 10%前後の経済成長を成し遂げ、今年、日本の GDP を抜くのは間違いなく、世界第2の経済大国となる。一人当たりの GDP も 4000 ドルレベルまで上がってきている。4000 ドルなら大したことはないと思うかも知れないが、その数字は 13 億人の平均であり、

中国では貧富の差が激しいことから、都市に住む富裕層は相当なお金持ちである。

観光庁は、先の 6 月に成田空港など 11 の出国空港で訪日外国人消費動向調査を行った。これは、外国からの観光客が日本にいる間の消費状況についてアンケート調査を行ったもの。これによると、日本での買い物消費額について、中国人は 1 位、何と一人当たり 101,229 円も使っている。欧米人の平均は概ね 3 万円前後であり、中国人は欧米人の 3 倍以上の買い物をしてくれるいいお客様である。もちろん、中国人は海外旅行をすると親戚などへのお土産を買って帰るという習慣があるのも影響している。テレビでも、銀座のデパートや秋葉原の電気屋にバスで乗りつけ、高級炊飯機やカメラなどを銀聯（ぎんれん）というデビットカードを使って購入している様子を報道している。

私が中国に注目する理由は他にもある。各国の外国旅行者のうち、何%が日本を選び訪問したか（訪日比率）の資料（国際観光白書 2009）を見ると、中国はたったの 2.18%となっている。韓国は（訪日比率）19.03%、台湾は（訪日比率）16.42%となっている。中国は鉄道で香港に行けるなど特殊事情があり（香港は統計上外国扱い）、台湾ほどの潜在的な訪日比率があるわけではないが、それでも訪日比率は 8%ぐらいあってもおかしくなく、ビザ資格制限を緩和することにより現状の 4 倍は期待できる。更に中国の今後の経済成長なども考えると、2020 年頃には現状の 6 倍から 10 倍ぐらいは期待できるのではないだろうか。2009 年の訪日中国人観光客は 101 万人（シェアは 15%）なので、2020 年には 800 ± 200 万人ぐらいとみる（因みに 2016 年の政府目標は 600 万人となっている）。

中国人の訪日観光客を増やすことは、日本にとって経済的な利益だけでなく親日派の人を増やすことにつながり、政治的外交的な利益も大きく、大いに奨励すべきことと私は考えている。最後に、「トリビアの泉」の情報を 2 つほど。中国の宝健という健康食品や日用品を販売している会社があり、お得意様や成績のいい社員などを報償としてこの秋に日本への旅行へ連れて行くこととしており（一般にインセンティブ旅行と言う）、その数は何と 1 万人だそうである。中国からの教育旅行（修学旅行、社会見学、姉妹校訪問などをひっくるめて教育旅行と言っている）として日本へ来た人数はこの 7 月だけで 11,736 人に及んだ。（※尖閣諸島沖の衝突事件による日本での治安懸念から、9 月 17 日、宝健の報奨旅行は中止が発表された）

松井秀幸（20 回生）

昭和 59 年横浜国立大学卒

昭和 61 年～平成 6 年名古屋国税局

平成 6 年～平成 11 年財務省国際金融局

平成 11 年～平成 14 年世界銀行（ワシントン DC）

平成 14 年～平成 18 年財務省国際局

平成 18 年～平成 21 年日本政府観光局（ニューヨーク）

平成 21 年～平成 22 年財務省国際局

平成 22 年内閣官房

「ストーマちゃん」と生きる

川人康代 (17回生)

今年の夏は、本当に焼けるような暑さでしたね、連日の気温の報道で多治見がすっかり有名。まあ、暑いのは大変ですがすごい宣伝効果。8月に地元に戻った時おみやげに、シェシバタで発売された「うながっぱクッキー」を買って帰りました。多治見のゆるキャラ「うながっぱ」のクッキー。仕事場におみやげ持っていったら、大変盛り上がりました！でも、「多治見ってどこ？」と聞かれる人もいて、「岐阜県ですよ〜！」とお伝えした次第です。とほほ…。

そろそろ本題に入らねば……私は17回生で、仕事は声優：真山亜子（代表作はE.T.のE.T.、「ER 緊急救命室」の看護師ヘレエ、「ワンピース」ココロ、「忍たま乱太郎」の母ちゃん、「ちびまる子ちゃん」の杉山君など）また紙芝居の一座「あっこりやまた一座」、そしてご要望があれば「真山亜子ストーマちゃん物語」などお話させていただいています。

ストーマというのは人工肛門のことです。自分事で恐縮ですが、今回はわたしの病気のこと、ストーマのことなど書かせていただくことにしました。

私は32歳の時にクローン病とベーチェット病に認定された難病患者です。

2002年3月、それまで1年くらい寛解期にあったのですが、調子がいいために無理をしていて、お正月に食べた牡蠣にあたったのが引き金となり、ひどい下痢をおこしどんどん痩せて、下血するようになりました。どんどん具合が悪くなり、とにかく入院の準備をして病院に。なんとか空いた個室に入院。1週間たっても下痢が止まらず、大部屋に移って桜が咲き始めた日曜日の朝、猛烈にお腹が痛くなり、心配した同室の方がナースコールで看護師さんをお願いしてくれました。

すぐにCTをとると、当直の若い女性の医師から「教科書通り腸に穴があいています。すぐにこれから手術をしますが、もしかしたら人工肛門になるかもしれません」と告げられまし

お師匠さんと一緒に、「小唄と語りの会」にて



2010 真山亜子 photo by 向井渉

た。

とにかくお腹は痛いし、人工肛門がなんのことかもわからず、かもしれないことに考えが及ぶ状況ではありませんでした。とにかく緊急手術が終わりICUに「無事手術はすみました」と告げられるのですが、先生がいない時に何度か警告音が。もう一度先生が来た時にわたしが「足が痺れてきた、手が痺れて、後頭部が…」と訴えた時に、先生があわてて看護師さんに「血压計って！」看護師さん「血压触診で計れません」話は飛びますが、私は「ER 緊急救命室」の看護師ヘレエの声をやっけて、患者さんが危ない時に「血压触診で計れません」と台詞で云ったことがあります。え〜!!!大変、死んでしまう。

先生はすかさず「もう一度手術するから」と。あまりにひどい腸の穿孔、潰瘍のため腸壁が弱く、術後また穴が空いたようです。私は何故か「なってしまったものは仕方がない」と冷静で、もう一度お腹を開けることの方が怖かった。2度目の全身麻酔。途中主人は先生から「助けられないかもしれません」と言われたそうですが、もう一度ICUに帰ってくることができました。

この時にわたしのお腹にストーマちゃんがやってきたのでした。2度の全身麻酔のダメージはひどく体重は10キロ以上落ちて、体を起こせなくなっていました。

詳しくは『がんサポート』6月号、「めんえきサポート」9月号(どちらも株エビデンス社発行)に記事を載せてもらっています。こちらをお読みいただければ幸いです。

あれから8年、合併症に悩まされ入退院を繰り返しながらも、やりたいことや、みなさんに支えられてなんとかやります。今年の5月に第1回「ちょっと小唄と語りの会」をし

した。語りは山本周五郎の「かあちゃん」。北高同窓会東京支部の同期のみんな、先輩、後輩の方々も大勢来てくださり大盛況でした。この場をお借りして御礼申し上げます。これからもストーマちゃんと自分のできることをやっていこうと思います。そして何かお役に立てたら幸せです。

ブログ「真山亜子 ストーマちゃんのつぶやき」<http://blog.goo.ne.jp/sutomachan/> を書いてます。なかなか更新してませんが・・・

追伸・・・9月11日、味の素スタジアムで行われた「難病と取り組む仲間とともに、響け1万人の鼓動・ウォーク&ランフェスタ」に行ってきました。そこでの「チャームング賞」の授賞

式に出たのです。『困難に立ち向かいながらも、他の方々に「はじめの一步」を踏み出す元気を与えることができる方（またはグループ）もしくは「はじめの一步」を踏み出そうと思うきっかけになるような活動をしている方（またはグループ）を紹介する』賞で、ストーマ仲間の方が私を推薦して下さりノミネートされたのです。素晴らしい活動をされている方ばかりなので、わたしはただ参加してくればいいのかと呑気にしてたら、「チャームング賞」とは別に「日本栄養士会賞」と「中里融司賞」を頂きました。賞状をもらったのは大学の卒業以来、サプライズでとても嬉しいことでした。これからも自分の経験したこと、不便なこと、いいことなど、自分の出来る範囲で発信していこうと強く思いました。

第20回総会・懇親会開催 恩師、来賓迎え、盛大に

昨年、11月21日、昭和女子大学（三軒茶屋）において、多治見北高同窓会東京支部第19回総会・懇親会が開かれ、総勢97人の参加がありました。総会では、山本東京支部会長の挨拶のあと議事に移り、第19期活動報告および会計報告、監査報告、第20期活動計画および予算がそれぞれ承認



大嶽氏によるフォーラムの様子

されました。

フォーラムでは大嶽節洋氏（7回生・カゴメ（株）代表取締役副社長）が「カゴメの紹介と野菜と健康」について講演されました。

懇親会は、来賓の皆さんからご挨拶を頂いたり、旧知を暖めながらの歓談や、協賛品の数々のくじ引きなど大いに盛り上がりました。谷村真一先生の指揮で校歌斉唱。幹事引き継ぎのキューピー人形の引き渡しで幕を閉じました。



谷村先生の指揮で校歌斉唱

東濃地区高校同窓会連絡会 年二回集まり交流進む

東京で活動する東濃地区の高校同窓会、6校の連絡会がもたれています。参加しているのは、中津、恵那、岩村、瑞浪、土岐商、多治見北の6校で、それぞれの東京同窓会の代表が年に二回ほど集まって食事会を開いています。多北東京からは、1月14日の会に前原前会長、山本会長そして原田副会長の3名が参加、7月8日の会には、山本、原田が出席しました。会によっては、60歳以上が参加要件になっているなど、各校の違いが色々あって、興味深い情報交換の場となっています。



銀座のレストランでランチ

第21回東京支部総会・懇親会のご案内

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は支部運営にご協力いただき心より御礼申し上げます。さて、本年も東京支部総会・懇親会を下記のとおり開催する運びとなりました。

今回は、関東近郊に在住する諸先輩方と若手が職種や世代を超えて交流を深められることを目標に、特に20回台、30回台、40回台の若手への参加呼びかけを強化し、同窓会をより広い世代に知ってもらえる機会にしたいと考えております。初参加の方には、実行委員がホストとしてコーディネート致しますので、どうぞお気軽にご参加下さい。ご多用中のこととは存じますが、是非とも本総会にご参加いただき、関東地区での交友関係を拓ける場として積極的にご活用いただければ幸いです。

多治見北高同窓会東京支部総会実行委員会（11、21、31回生）

記

日時：平成22年11月20日（土曜日） 午後2時～6時30分（受付開始午後1時30分）

会場：昭和女子大学 本部館3階 電話 03（3411）5244（内線 1301）（当日のみ）

総会・フォーラム：中会議室 懇親会：大会議室 ※なお、会場までの道筋は案内図をご覧ください。

<プログラム>

- ・総会：午後2：00～2：30（於：中会議室）
活動報告、事業計画他
- ・フォーラム：午後2：30～3：30（於：中会議室）
講師：古川雅典（11回生）多治見市長
テーマ：「多治見市の今後の展望」
多治見市の近況と外的、内的環境変化
多治見市の目指すビジョン・方向性
多治見市の特徴・強みを活かした今後の政策
多治見北高同窓会東京支部への期待
- ・懇親会：午後4：00～6：30（於：大会議室）
- ・懇親会費：29回生まで6000円
30回生以降3000円
学生1000円（新卒業生は無料）
- ・年会費：一般2000円 学生0円
- ・ご家族のご同伴もOKです。

ご同伴の方の懇親会費として、別途お一人様3000円を頂戴致します。
（小学生以下のお子様は無料）

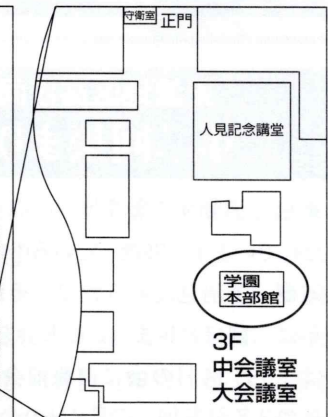
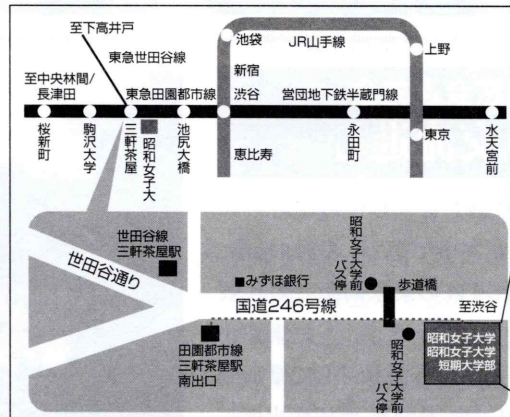


第20回総会



第20回懇親会

会場へのアクセス



幹事回生の引き継ぎ

編集委員 原田英明（12回生）

<ホームページアドレス> <http://www.tajimikita-tyo.com/>

<メールアドレス> info_hokushin@tajimikita-tyo.com